



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 イリソ電子工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6908 URL <http://www.iriso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 由木 幾夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 宮内 敏彦

TEL 045-478-3111

四半期報告書提出予定日 2019年8月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,040	7.8	1,398	27.1	1,347	35.0	909	42.8
2019年3月期第1四半期	10,886	6.5	1,918	4.5	2,074	16.2	1,589	13.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 361百万円 (106.8%) 2019年3月期第1四半期 1,829百万円 (13.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	38.60	
2019年3月期第1四半期	67.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	59,249	49,547	83.1	2,088.86
2019年3月期	61,471	51,329	83.0	2,164.68

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 49,227百万円 2019年3月期 51,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		60.00	60.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	1.2	3,400	7.5	3,400	15.8	2,600	12.4	110.33
通期	45,000	5.1	8,100	33.1	8,100	28.1	6,100	63.9	258.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	24,583,698 株	2019年3月期	24,583,698 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,017,025 株	2019年3月期	1,017,025 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	23,566,673 株	2019年3月期1Q	23,673,728 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社自己株式(2020年3月期1Q 107,000株)が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の影響で減速感、不透明感が続きました。その中で米国経済は良好な雇用や所得環境が消費を下支えする一方、国際経済における減速や貿易摩擦の激化などの影響を受けて企業活動は低調に推移し、特に自動車産業においても販売不振が顕著になりました。中国経済では米国との貿易摩擦が継続しており、4月から6月までのGDP成長率が6.2%と1992年以降の四半期ベースにおいて最低水準にとどまり、自動車販売においても前年同期比で10%以上減少するなど、景気減速が続きました。欧州では、ドイツにおける「国際調和排ガス・燃費試験方法（WLTP）」導入による自動車販売台数減少の影響がわずかながら残っていることや外需低迷の影響で製造業が低調に推移したことに加えて、英国のEU離脱問題の長期化により不透明感が高まりました。

わが国の経済におきましても、製造業における輸出減少に伴い、停滞感の強い状況が続きました。

このような事業環境の下、当社グループは、主力の車載市場で、中国、米国、欧州といった主要消費地における自動車販売台数が全面的に減少し、販売は減少しました。カーオーディオやカーナビを中心としたカーAVN分野では、製品自体のcockピット化やコネクティッド対応等の将来の変化に備えた新たな開発を進めてはいるものの、自動車販売台数減少及び自動車1台あたりのコネクタの搭載数量減少の影響により、減少いたしました。一方で車載市場の中で注力して取り組んでいるADAS（先進運転支援システム）向けや電動化の進展に伴い新たに自動車に搭載されているパワートレイン向け等のコネクタについては、市況が低迷している環境下においても好調を維持し、ADAS向けでは20%弱、パワートレイン向けでは60%弱、販売が増加しました。インダストリアル市場においては米中貿易摩擦を背景とした設備投資抑制により販売が減少しました。

営業利益は、外部環境の悪化に伴い売上が減少した影響を受けましたが、更なる原価低減の推進や経費の削減に取り組み、減益幅を抑制しました。

以上の結果、売上高は前年同期比7.8%減の100億4千万円となりました。営業利益は前年同期比27.1%減の13億9千8百万円、経常利益は同35.0%減の13億4千7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同42.8%減の9億9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2019年3月末)に比べ22億2千2百万円減少し、592億4千9百万円となりました。流動資産は、現金及び預金24億9千7百万円の減少、受取手形及び売掛金1億2千5百万円の減少等により28億1千3百万円減少し322億9千万円となりました。固定資産は、建物4億1千9百万円の増加、建設仮勘定4億8千8百万円の増加、機械装置2億9千5百万円の減少等により5億9千万円増加し269億5千9百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億3千9百万円減少し、97億1百万円となりました。流動負債は、未払金5億2千5百万円の増加、未払法人税等13億4千6百万円の減少、支払手形及び買掛金2億1千3百万円の減少等により9億3千1百万円減少し85億1千万円となりました。固定負債は、4億9千1百万円増加し11億9千1百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益による増加9億9百万円、剰余金の配当による減少14億2千万円、為替換算調整勘定の減少12億6千万円等により前連結会計年度末に比べ、17億8千2百万円減少し495億4千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,456	12,959
受取手形及び売掛金	10,382	10,257
商品及び製品	5,056	4,971
仕掛品	44	44
原材料及び貯蔵品	2,633	2,543
その他	1,546	1,558
貸倒引当金	△15	△44
流動資産合計	35,103	32,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,874	7,347
減価償却累計額	△2,674	△2,728
建物及び構築物（純額）	4,199	4,619
機械装置及び運搬具	24,414	24,208
減価償却累計額	△12,497	△12,587
機械装置及び運搬具（純額）	11,917	11,621
工具、器具及び備品	14,356	14,287
減価償却累計額	△10,808	△10,808
工具、器具及び備品（純額）	3,547	3,478
土地	1,268	1,772
建設仮勘定	3,292	3,781
有形固定資産合計	24,225	25,272
無形固定資産		
ソフトウェア	209	212
その他	322	30
無形固定資産合計	532	242
投資その他の資産		
投資有価証券	628	605
繰延税金資産	682	493
その他	354	403
貸倒引当金	△55	△58
投資その他の資産合計	1,610	1,443
固定資産合計	26,368	26,959
資産合計	61,471	59,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,686	3,473
短期借入金	373	367
1年内返済予定の長期借入金	61	61
未払法人税等	2,007	661
賞与引当金	456	331
その他	2,855	3,615
流動負債合計	9,442	8,510
固定負債		
長期借入金	66	52
退職給付に係る負債	371	381
役員株式給付引当金	8	9
その他	253	748
固定負債合計	699	1,191
負債合計	10,141	9,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,640	5,640
資本剰余金	8,744	8,744
利益剰余金	35,962	35,451
自己株式	△995	△995
株主資本合計	49,351	48,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	10
為替換算調整勘定	1,538	277
退職給付に係る調整累計額	102	99
その他の包括利益累計額合計	1,663	387
非支配株主持分	315	320
純資産合計	51,329	49,547
負債純資産合計	61,471	59,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,886	10,040
売上原価	6,797	6,533
売上総利益	4,089	3,506
販売費及び一般管理費	2,171	2,108
営業利益	1,918	1,398
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	1	1
為替差益	142	—
有価証券売却益	—	12
その他	19	10
営業外収益合計	173	35
営業外費用		
支払利息	2	6
為替差損	—	69
その他	14	10
営業外費用合計	16	86
経常利益	2,074	1,347
特別損失		
固定資産除却損	15	22
特別損失合計	15	22
税金等調整前四半期純利益	2,058	1,325
法人税、住民税及び事業税	321	215
法人税等調整額	154	198
法人税等合計	476	413
四半期純利益	1,582	912
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,589	909

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,582	912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△12
為替換算調整勘定	245	△1,258
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	246	△1,274
四半期包括利益	1,829	△361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,841	△366
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的な影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間における四半期連結貸借対照表は、有形固定資産の「建物及び構築物」が420百万円、「機械装置及び運搬具」が23百万円、「工具、器具及び備品」が17百万円、「土地」が507百万円、流動負債の「その他」が179百万円及び固定負債の「その他」が495百万円、それぞれ増加しており、無形固定資産の「その他」が299百万円減少しております。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(役員報酬BIP信託に係る取引について)

当社は、2018年6月26日開催の第52回定時株主総会において、当社の取締役(監査等委員である取締役、社外取締役及び国内非居住者を除く)及び執行役員(国内非居住者を除く)を対象に、業績連動型の株式報酬制度として「役員報酬BIP信託」(以下「本制度」)を導入することを決議いたしました。信託に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社が設定した信託(役員報酬BIP信託)が当社株式を取得し、当該信託を通じて取締役等に、2019年3月末日に終了する事業年度から2021年3月末日に終了する事業年度までの3事業年度を対象として、各事業年度における業績目標の達成度及び役位に応じて付与されるポイントに相当する当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭を交付及び給付する制度であります。

なお、信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期連結会計期間末において、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、669百万円及び107,000株であります。

また、上記役員報酬の当第1四半期連結会計期間末の負担見込額については、役員株式給付引当金として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,259	4,724	2,022	1,880	10,886	—	10,886
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,984	4,916	1	0	10,904	△10,904	—
計	8,244	9,641	2,024	1,880	21,790	△10,904	10,886
セグメント利益	1,602	390	107	33	2,134	△215	1,918

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△215百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,991	4,251	2,009	1,787	10,040	—	10,040
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,688	4,718	6	0	10,414	△10,414	—
計	7,680	8,970	2,015	1,788	20,454	△10,414	10,040
セグメント利益	872	364	44	63	1,344	53	1,398

(注) 1. セグメント利益の「調整額」53百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△356百万円及びたな卸資産の調整額等410百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。